



Title	神戸芸工大の教育理念とプロダクトデザインについて
Author(s)	多田, 愛実
Citation	デザイン理論. 1991, 30, p. 115-116
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/52952
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

神戸芸工大の教育理念とプロダクトデザインについて

多田愛実

価値観や生活意識さらには地球環境問題など、我々の取り巻く状況が大きく変わり、デザインの意味や目的を新たに問うこととなってきた。デザイン教育においても、従来の視点や枠組みから考えるだけでは不十分となり、新しいデザイン教育の理念と方法論が必要であるとの観点から、今回の研究発表では、新しいデザインとして「芸術工学」の教育と研究をめざして誕生した神戸芸術工科大学の理念を発表すると共に、社会情勢の変化によって生み出されたデザイナーへの要請を問題点としてあげ、教育との関係を考えて。

理念については先輩である九州芸術工科大学の理念を参考として、独自の理念を生むための思考錯誤を含めて発表した。

神戸芸工大の教育理念

神戸芸工大の教育理念は「芸術工学」を目指すものであり、当大学の「芸術工学」についての解釈を述べることで、理解をはかった。

芸術工学は総合的なデザインを目指すものであり、「芸術から工学にいたる諸学問を融合し、その知識、技術の活用を基盤とした高次なデザインを追求する学問である」と定義していることから、総合的デザインの概念について、3つの観点から説明を試みた。

- 1) 総合的デザインの対象（デザイン対象の総合化）
- 2) 総合的デザインの内容（デザインプロセスの総合化）

3) 総合的デザインの教育、研究（学問領域の融合）

これにくわえて、より理解を深めるために、芸術工科大学の求める人間像を明らかにした。

新しいデザイン教育の必要性（プロダクトデザインからの視点）

この問題については、時代の要請を7つの視点に分けて発表した。

1 創造性の要素

社会の成熟化に伴い、デザインにおけるイメージの醸成、発想法、表現法などの高度化の問題として、「モノゴト」の正しいあり方や魅力のあり方を感知しシナリオが描ける能力と、そのシナリオにもとづいた製品のあり方を構築する能力が必要となる。さらに今後の生活に必要なとされる基礎的技術の研究テーマを導きだす役割すら担うことになるだろう。

2 感性的な要素

デザイン教育の基本ともいべきものであり、造形能力、表現能力など、感性と表現技術を主体とした教育であるが、生活者の高感性化に伴い、より一層の高感度化と、より自由になった形態の意味が求められる。

3 工学的な要素

この工学的要素にはヒューマンファクターズに属する問題と、デザインワークに属する問題がある。

前者ではエレクトロニクス導入による製品のブラック・ボックス化に伴う、機能と操作・操作と表示など、人にやさしいもの

づくりの問題をあげ、後者では調査、企画などの計画段階でのコンピューターの利用や、デザインの表現技術としてのCG・CAD・CAMやVTRの映像処理などの習熟が必修条件となってきた問題を取りあげた。

4 技術的な要素

ユーザーの視点から目標とする形態を設定し、その目標に適合するように設計がなされるデザイン優先の時代へと移行したことで、デザイナーにとって機器の構造、素材の特性など技術的な理解がより重要な課題となってきた。

5 市場的な要素

これは製品開発・商品企画など、市場調査から企画・デザイン・宣伝にいたるトータルマーケティングに属する部分であり、その習得には体験的履修の方法として、臨床的な教育の「場と機会」の設定がより必要となるだろう。

6 経営的な要素

CI・VI・PIなどの構築力や、製品戦略、製品計画、商品化計画など経営的視点でのマネジメント能力の習得が必要となってきた。

7 その他の要素

調査の分析や計画の遂行などの情報操作を行うにあたって、定量化の意味、「モノゴト」の關係に重みをつけ、正しい關係を理解する能力や分析方法とその意味など、情報の處理に關する基礎的な知識も必要となろう。

以上いくつかの要素に分解をし述べたが、総合的なデザイン教育の問題としては、それらを4年間で如何に効率的に教えるか工夫のいるところである。また、教育の方針

やカリキュラムなども公開し、常に客観的な評価をもって見据えていく必要があると思われる。

(ただ・なるみ 神戸芸術工科大学)